

製品名: AMPK アルファ 2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01643**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 62 kDa; Observed MW: 62 kDa

抗原情報

遺伝子名	PRKAA2
別名	PRKAA2; AMPK; AMPK2; 5'-AMP-activated protein kinase catalytic subunit alpha-2; AMPK subunit alpha-2; Acetyl-CoA carboxylase kinase; ACACA kinase; Hydroxymethylglutaryl-CoA reductase kinase; HMGCR kinase
遺伝子 ID	5563
SwissProt ID	P54646
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

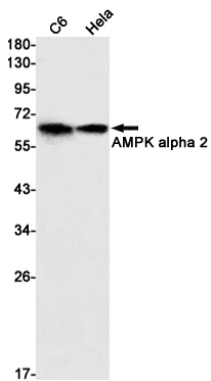
背景

AMP 活性化プロテインキナーゼ (AMPK) は、酵母から植物、動物に至るまで高度に保存されており、エネルギー恒常性の調節において重要な役割を果たしています。AMPK は、触媒 α サブユニットと調節 β サブユニットおよび γ サブユニットからなるヘテロ三量体複合体であり、各サブユニットは2つまたは3つの異なる遺伝子 ($\alpha 1, 2; \beta 1, 2; \gamma 1, 2, 3$) によってコードされています。AMPK は、熱ショック、低酸素症、虚血などの細胞ストレスや環境ストレスによって AMP/ATP 比が上昇すると活性化されます。

研究分野

神経科学

画像データ



AMPK アルファ 2 抗体を使用した C6、Hela 溶解物中の AMPK アルファ 2 のウェスタンブロット分析。